

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月17日	作成者名	五條 宏	評価者名	渡邊 昌彦
-----	-------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	上下水道部・下水道施設課
分野	07 上下水道	関係課	水安全部・総務課
施策	63 公共下水道の普及促進		
施策の目的	市民生活の快適性を高めるため、下水道の普及を促進し、多くの市民の生活環境の改善や公衆衛生の向上を図ります。また、近年の都市型豪雨にも、市民が床上浸水などについて必要以上に不安を抱かず、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	汚水整備事業
取り組み②	雨水整備事業
取り組み③	浸水対策事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
汚水整備率1	新曽第一土地区画整理事業地区整備率 (整備予定面積÷計画整備面積)	%	80.5	52	55	59.4	69.6	74.9	82.8
汚水整備率2	新曽第二・新曽中央地区内整備率 (整備予定面積÷計画整備面積)	%	37.1	19.3	22.9	25.4	31.2	35.4	47
雨水整備率	雨水整備率 (整備予定面積÷計画整備面積)	%	71.7	70.4	70.6	70.9	72.1	72.1	72
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	汚水整備については、市全体の整備率が90%を超えているが、未整備地区の早期解消に向け、整備を促進する必要がある。 雨水整備については、未整備地区のうち、特に新曽地区の整備が遅れており、整備を促進する必要がある。また、近年頻発する集中豪雨や大型化する台風に対し、緊急かつ効率的な浸水対策を講じる必要がある。	対応策	汚水整備については、新曽第一地区及び新曽中央地区の整備を令和4年度までにおおむね完了させる。 雨水整備については、地区ごとの雨水計画を新たに立て、整備の促進を図る。また、浸水被害が多い地区において、浸水対策を実施し安心・安全の確保を図る。
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	汚水整備については、令和2年度に事業推進の強化を図り、目標値を大幅に上回る成果となった。雨水整備については、目標を達成したが、浸水被害を軽減するため更なる対策を検討する。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	汚水整備については、未整備地区の解消を図るとともにストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の更新を進める必要がある。また、雨水整備、浸水対策については、近年の気候変動に伴い豪雨の発生頻度が高くなっていることから、事業を推進する必要がある。これらのことから、計画策定・設計業務・工事監理に要する人員と予算の増加が必要となる。
↑		

(評価者コメント)

汚水未整備地区については、引き続き整備の促進に努めること。雨水未整備地区については、早急に整備を進めるとともに、効率的かつ効果的な浸水対策を実施すること。また、下水道施設の老朽化対策や耐水化を進め、災害時等においても市民生活に影響を及ぼす事象がないように適切な維持管理・更新を進めること。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月17日	作成者名	五條 宏	評価者名	渡邊 昌彦
-----	-------------	------	------	------	-------

5. 事務事業の検討 【特別会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 4 予 算 額	事業費 うち 一般財源
		事業 区分	R 4 計 画 額	R2決算額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コ メ ン ト		
				R3予算額			施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性						
				事業費 うち一般財源 人件費												
01 雨水工事費 (下水道施設課)																
	03	義務	雨水整備事業	27,009	2	○	B	B	B	B	2	○	義		0	
			03 02 01 01 01 03	97,298											0	
			排水区域(分流式)910haのうち、新曽第一・第二地区を除	170,000											0	
				14,540											0	
01 汚水工事費 (下水道施設課)																
	01	義務	汚水整備事業	742,136	1	○	A	B	B	B	1	○	義		0	
			03 02 01 02 01 01	899,281											0	
			処理区域1,315haのうち、新	446,376											0	
			曽地区(汚水未整備地区)208h	7,245											0	
			16,618													
xx 浸水被害軽減事業 (下水道施設課)																
	00	義務	浸水被害軽減事業	148,753	1	○	A	B	B	B	1	○	義		0	
			03 xx xx xx xx 00	1,102,618											0	
			浸水被害の多い地区につい	753,500											0	
			て、重点的に浸水対策工事を	50											0	
			6,232													
計 (千円)				事業費	2,138,467	4,347,614	3,467,113	0								
				うち一般財源	1,009,467	1,318,715	1,218,469	0								

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和4年度で終了 8 令和3年度で終了 9 令和2年度で終了